

農園便り 5月号 (124号) 2023/5/1

文責 筒口 典康

東京都清瀬市中里の松村さん(専業農家・元G A東京監事)からお電話をいただく。『その後、イチゴはどうなっていますか』、『花が咲き始めたら、追肥すると良い・・・』、『リン酸(P)、多めの配合肥料が良いですよ・・・』と。(3/25)(土)御心配いただきました。

イチゴの様子



4/10 ビニールの覆いはそのまま雨除けに 4/4 しっかりしている葉・花 竹チップマルチ

そこで、二瓶君の「ソマチット」(古代生物泥岩)粉末を振る。「竹チップ」で地表をマルチする。生活クラブ・長浜商店(0280-56-1100)のマルタ玉肥(置肥)を押し込む。これで、OK。

以前、松村さんがおいでになった時に、『玄関に置いてある君子蘭は、2鉢とも痩せているヨ』と・・・、一目見て、ご御指摘。思えば、畑の野菜たちも痩せ気味。私は、まだまだ追肥時期の観察が出来ていない。葉の緑色の様子とか、葉の幅、厚み。元葉、芽先の様子などで判断されたのだと思います。まだ、自分は、追肥の時期が解ってないのであります。甘いのであります。

美味しいイチゴをいただくには、それなりの手をかけなければなりません。即効性のある化成肥料を使うべきか、悩む。「ソマチット粉末」にした。

越冬させていた野菜たちの芽が動き出した。サトイモ、サツマイモは、芋を挿して伸びた鉢苗からも芽が伸びる。オカワカメ(雲南百薬草)、ヤマノ芋、アピオス、キクイモの芽も。

里芋の畝を作る。(4/3) 深めに溝を掘り、「糠」「ダルマ堆肥」「マルタ玉肥」「蟹殻」「軟炭粉」・・・を混ぜる。「菌」(ボカシ肥)を混ぜます。

里芋の畝の延長先に、「ナス」を植える予定。そのナス列には、籾殻燻炭層を作る。すると・・・、籾殻燻炭層にナスの根先が当たり、その刺激で分枝(根)するそうである。根の量が増えまして、吸肥根が増大すると言う。やってみる。里芋の脇に「ショウガ」。オザキで仕入れてあります。

耕作地中央の作業路を挟んで北側は水分を多く要求する作物達を植えます。広畝の半分に小肥の列と多肥の列を設けます。小肥、多肥の列の間に、幅狭の深溝(追肥溝)を作ります。

この溝に、「刈草」や「収穫物残渣」「カニ殻」、「玉子殻」、「糠」等もどどん放り込んでいきます。「菌」(麹菌・納豆菌・乳酸菌・酵母菌…)も…。「油粕」は使いません、「油粕」は腐臭が出るので使わない。

醗酵後の有機の肥料成分を、植物が必要なだけ取りに行くように仕向けるのであります。肥満にさせないのであります。今の所、野菜たちは調子が良いのであります。「元気野菜」・「健康野菜」が育っております。病虫害の手酷い被害は、出ていない。無農薬栽培ができております。

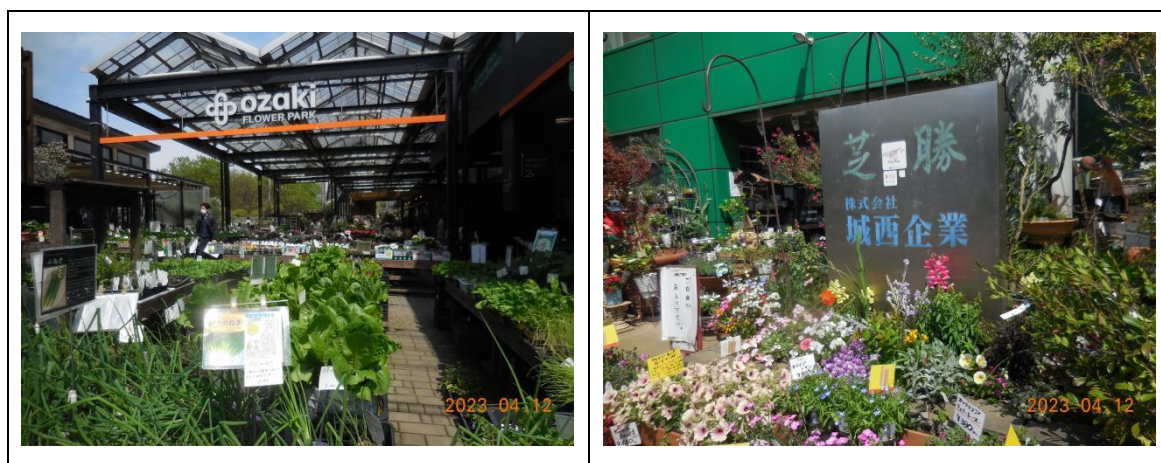
キャベツ 1月に入って、いただき始めたが、その時に軽く追肥。脇芽が立ち上がるのを待つ。2週ほど経ちますと出てきます。外葉の付け根に芽が出てきます。

脇芽を2~3本にしまして育てていると、キャベツ玉が膨らみ始める。花芽になったものは、肉野菜炒めで、食べる。その株は、片付ける。

株ごとに性質が違って、「結球」するものと「抽苔」し易いものがあるようです。始めから脇芽が「玉」になり易い品種もあるようです。片付けた株の後に、新しいキャベツ苗を植えています。

「根」は、根元で切りそのまま残す。キャベツ残渣(茎・葉)は追肥溝に置く。「糠」「菌」を振り、「板」を置く。キャベツ玉を2度作るのであります。

「オザキフラワーセンター」には、各種の野菜苗が所狭しと準備されているので、ありがたい。管理棟で種子を蒔いて、苗を丁寧に作られている。苗が新鮮である。むろん委託農家からの仕入れ苗も置いている。とにかく何でも揃います。それに担当者の専門知識が深く素晴らしい。価格は高めであるが何でも聞きまして、購入しています。であるので、当然のお値段でありましょう。決して高くはない。親切に丁寧に教えていただけます。



4/12 オザキフラワーセンター 野菜の苗も色々と 青梅街道にある「芝勝」 緑色のビル

関町南 3 丁目区民農園の近くで、「苗」や「種子」を買います。 花の「芝勝」さんです。美人で愛想の良い姉さんと、美大出の才媛の妹さん。鉢物の花、花木が配色良く並ぶ。この店では、珍しい植物を探してくれる。「アセロラ」「ミラクルフルーツ」「ジャボチカバ」「バンペイユ」(柑橘)「オニユズ」(柑橘)「スプリングアーリー」(柑橘)……。

オザキは、遠いので、「芝勝」で、夏野菜の苗を買うヨ。連休待ちである。トマト、ナス、キュウリ、ピーマン、万願寺トウガラシ、激辛……。今は、「土作り」を始めている(3/15)。後は、刈草マルチと、水やり。

「大きくなーれ」「大きくなーれ」、「美味しくなーれ」「美味しくなーれ」と、水をやる。「芝勝」の花屋さんは、花鉢や野菜の苗の管理がとてもよろしい。「花鉢」の色とりどり。色合わせが良く、綺麗に並ぶ。花殻を取り除いて、追肥もしてある。『仕入れて、並べているだけヨ』と、言う。しかも少々お安い。『オザキさんにはかなわないけれど、頑張っていますヨ』。

緑色のビルが素敵である。成城学園の商店街にある花屋さんの雰囲気がある。このお店には、「蟹殻」も置いてあります。

一番理解しやすい有機栽培の本は、西村和雄著、「スローでたのしい有機農業コツの科学」である(七つ森書館¥1800)。省エネを強調している所が良い。野菜たちの各論も解り易い。納得できる。有機栽培入門書である。

現代農法＝慣行農法(化成肥と農薬多用の現代農法)に対抗できる良書でございます。NHKの「やさいの時間」の慣行農法とは対極にある。藤田先生、ごめんなさい。

ブロック塀の支柱と台所の入り口階段で、丁度良い空間ができています。そこで、「腐葉土」を作っている。落ち葉は青梅街道のケヤキの落葉。マンションの方々が掃除をされて袋に入れて積んでありますので、いただく。都立善福寺公園の「シラカン」、「シイ」の落ち葉。「糠」を振る。「菌」を入れる。

古米を振る。古くなってしまった小麦粉を振る。だしに使った煮干しも、魚の骨も。玉子の殻、蟹殻、鳥の手羽先、手羽元の骨も、醃酵鶏糞もどんどん入れます。無料でいただいた「オカラ」も。ブロック塀の柱元に入れる。水をやり、ブルーシートで覆う。「糠」を振る。

「糠」 西武池袋線の保谷駅東に線路をまたぐ細い道がある。線路を超える踏切は、やや坂道になっているので油断ならない。北方向に進み、大泉第 4 小学校の方向に右折。学校の前に菓子のドラックストアがある。敷地内に精米棟がある。精米することを条件に「糠」を持ち帰ることが出来る。

玄米は、石神井農協で売っている。以前、井草八幡宮の近く「本橋米店」で売っていた。米の紙袋満杯で ¥150 で分けていただけた。だが、店を閉めてしまいました。「糠」が手に入らなくなった。米穀店も、豆腐店も廃業が続いている。入手しにくくなっている。

精米所で入手できる「糠」は、もちろん国産物。特に、寿司米、酒米の産地の「玄米」は、減農薬・無農薬であろう…。で、安心して使える。探す。

地方に旅行した時に、農協を探して農家や精米所を教えてもらう。「糠」「稲藁」「籾殻」等を、手に入れよう。園芸店で買うよりも破格の安さである。「籾殻」などは 0 円である。「稲藁」大束で 150 円。信じられない安さである。

「オカラ」 杉並西荻南の「神明道り」を左折。東に向かう。しばらく行くと、コーヒーの卸し店がある。そこのごく近くに豆腐店がある。「豆腐」「揚げ」「ガンモ」「厚揚げ」・・・を買う。「オカラ、分けていただけますか」。『ああ、いよいよ』。『持って行きな』。となる。越後屋豆腐店(03-3333-5477)

コーヒー店では、コーヒー粕も手に入る。「オカラ」をくださる豆腐店も少なくなっている。「オカラ」を手に入れる店を探している。

「動物糞」「敷き糞」「お線香の灰」 近場では、成蹊大学馬術部、早稲田大学馬術部、井の頭動物園。当たってみる。御迷惑でないように気を付けて、分けていただく。大泉には以前県境に養豚農家があり、牧場がありました。近場で見つければ、訪ねてみると良い。いずれも産業廃棄物ですので、いただける。「成蹊大学馬術部」で申し込み手続きをしますと、いただくことができる。醗酵馬糞の中の「菌」も魅力だ。無料。糞は、醗酵熱で暖かい。「仏様」に毎日手を合わせておきますと、線香の「灰」が貯まります。それです。家庭菜園で酸性に傾いた畑を中和するにはその程度の量で良い。カリウム(K)は、少な目に。酸性に傾いた畑に石灰(Ca)や灰(K)を入れますが、とにかく撒きすぎです。多すぎます。特に[K]は、過剰になると他の必要成分の吸収の妨げになる。芋類にはカリ(K)を欠かせません。少な目に施す。大泉牧場(牛)は、最近廃業してしまった。(4/12 訪問)



4/14 山積みされている乾燥馬糞を持参した靱殻用のビニール袋に入れる。 成蹊大学馬舎

醗酵馬糞は、豚糞などと違って、繊維分が多く窒素(N)分が少ない。地表に敷いてマルチとして使う。他の肥料と混ぜて使う。土壤改良材として優れた資材である。土の団粒化が進む。成蹊大学学生支援室 学生部(0422-37-3806)

酸度の調整ならば、有機石灰の「牡蠣殻」「玉子殻」が良い。 撒き過ぎの害は出にくい。多くの植物たちは微・酸性を好むものが多い。家庭菜園では、仏壇でできた「灰」ぐらいの量で良いのであります。

特にツツジ科の花木、日本の山野の植物には、「灰」は、毒であります。白・黄化して、枯れてしまう。多く撒けば良いと言う分けではありません。(西村和雄先生のスローでたのしい有機農・・・P127 カリウム) 特に「ブルーベリー」には、K肥、Ca肥は控えましょう。止めておきましょう。 T、